



ハヤブサ

ニュース No.59

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

4月の京丹後訪問のご案内

池田たかね

京丹後市は3月18日、基地受け入れ当時の「条件」が守られているかについての独自の「検証結果」を発表し、あわせて防衛省に対してあらためて10項目の要請事項を提出しました。

それらの中では、①事故報告について、もし疑義が生じるケースがあれば検証を加えつつ必要な改善を実施する、②発電機稼働が土日、夜間に繰り返されていることは極めて遺憾であり地元への事前連絡を徹底する、などが述べられています。その一方で「条件」の一部であった「日米地位協定とその運用」の改善については、日米政府に十分な努力の跡が見られないにもかかわらず、あまり重要視されていないようです。引き続き、京丹後市や京都府、そして米軍・防衛省に対して、日米地位協定の抜本改定をはじめ住民の「安全・安心」の徹底追及を要求していく必要があります。

同時に、このかんの米国・バイデン政権の中国に対する対決姿勢の強化のなかで、日米軍事同盟の強化が進められようとしています。また、さる3月30日には、韓国、日本、ハワイ、グアムに駐留する米軍部隊による合同の「ミサイル防衛」演習が実施されました。韓国のTHAAD部隊も参加しており、京丹後・宇川の米軍「第14ミサイル防衛中隊」も参加したと思われま。あらためて東アジアの平和を阻害する米軍Xバンドレーダーの姿が示されました。

こうしたなかで現地訪問を行います。時節柄、体調を考慮して無理のないかたちでの参加していただければと思います。

日程 4月16日(金)、および、4月27日(火)

集合 午前8時30分

五条大橋西詰ガソリンスタンド前

* 参加希望される方は事前に連絡をお願いします。

連絡先 池田 090-7108-5508

沖縄戦の遺骨が眠る土砂を辺野古埋め立てに使わせない！

(文責: 瀧川)



「戦争で殺された人の遺骨を、戦争のための基地を造るのに使うのは、死者に対する冒瀆です」「遺骨を収集したから開発してもよいということにはならない。全ての遺骨を収集するのは不可能だし、戦没者の血がしみ込んでいる土砂を埋め立てに使うのは間違っている」・・・これは、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんが9日の沖縄県議会の土木環境委員会に参考人招致されたときの発言の一部です。

辺野古新基地建設で辺野古の海の埋め立てに沖縄本島の土砂を使う国の計画が出されましたが、本島南部は沖縄戦で多くの人が亡くなった地であり、多くの遺骨が今なお埋まっています。「この地の遺骨混じりの土砂を使うな」と具志堅さんら5人が3月はじめに6日間のハンストをやり遂げ、3月17日に県議会と県内各市町村議会に同土砂採取の断念を求める意見書の可決を求める要請文を提出・郵送していました。

4月1日現在、沖縄県内41市町村のうち13市町村議会と同土砂を使用しないように国に求める

意見書が可決されています。

4月3日豊見城(とみぐすく)市議会が、同土砂を使用しないよう求める意見書を否決したことを受けて、豊見城市内で農業を営む金城博俊さんから有志が、市役所前で座り込みを始めました。臨時議会を開いて意見書採択するよう市議会に求める署名も募っています。金城さんは、沖縄戦では豊見城の住民の多くも南部で犠牲になったことを強調し、新基地建設を含め、戦争につながる「基地自体がいらぬ」と訴え、同土砂使用は人道上也「納得できない」と力を込めました。

京都では、3月初めの沖縄県庁前のハンストに連帯するアピール行動、署名活動が行われました。4月5日～9日に予定されていた沖縄でのハンストが、沖縄県内のコロナ感染拡大のため中止となりましたが、その期間に合わせて、有志によるアピール行動、署名活動が行われました。

民衆の国際連帯で 東アジアの平和をめざす 4・4円山集会 報告

山本 純



4月4日14時から表記の集会が円山公園野外音楽堂で開催された。あいにくの雨の中だったが、約100人の在日の仲間や滞日外国人、日本人の仲間が集会に結集した。

最初に実行委員会を代表して瀧川順朗さんが開会のあいさつをおこなった。

瀧川さんは、敗戦から75年経っても植民地支配と侵略戦争の負の遺産が清算されず、入管法が改悪されようとしている。このような差別・排外主義の強化と対決しなければならない

と訴えた。また、沖縄では沖縄戦で亡くなった方の遺骨を含む土砂を辺野古新基地建設のための埋め立てに使用するという死者への冒瀆が公然と行われようとしている。他方ミャンマーでは2月1日に軍事クーデターが勃発し、おおくの民衆が殺傷されつづけている。在日青年団体とともに、植民地支配と侵略戦争の謝罪と賠償を日本政府に実施させ、民衆の闘いによって東アジアの平和を実現していこうと呼びかけた。

続いて「朝鮮植民地支配の謝罪と賠償を！韓国の闘いに連帯を！」というテーマで、旧日本軍性奴隷問題の解決を求める証言集会・京都、日本製鉄元徴用工裁判を支援する会からの発言、「日本の朝鮮に対する政策と在日朝鮮人がおかれている状況」というテーマで在日本朝鮮留学生同盟、朝鮮学校と民族教育の発展をめざす会・京滋(こっぼんおり)からの発言が行われた。留学同は、日本政府による朝鮮植民地支配の正当化、「北」への敵視政策、朝鮮学校の無償化からの除外などの朝鮮人の生きずらさは日本人の責任であり、上っ面の連帯にとどまってはならないと辛辣に問題を提起した。

中塚智彦さんとパク・イヌユさんの歌の後、「入管体制・排外主義との闘い」というテーマでAWCユースが「滞日外国人の立場から入管体制を問う」、日朝友好青年・学生ネットワークが「天皇の加害責任を問う」、ユニオンネットワーク京都が「労働運動のなかで排外主義と闘う」を焦点に発言を行った。そして、「東アジアの平和と朝鮮半島の統一を」というテーマで在日韓国青年同盟、NO BASE! 沖縄とつながる京都の会、米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会が発言し、9条改憲阻止共同行動と全日建連帯労組関西生コン支部からのアピールで集会は締めくくられた。

集会の後、本降りとなった雨のなか、本能寺会館前までのデモが行われた。



「街なかビラ」の報告とお知らせ

第115回 3月15日(月) 百万遍 周辺 6人

暖かい日で、知恩寺の縁日で人出が多く、ビラの受け取りもとても良かったです。

- 舞鶴で軍艦を見て、戦争状況になっていくと感じて怖かった。(中年女性)
- 京都市内に住んでないので関係ありません！と受け取りを拒否した女性も。



第116回 3月23日(火) 下鴨高木町周辺 5人

この日は3か所(イズミヤ前、生協下鴨店前、生鮮館なかむら下鴨店前)に分かれて取り組みました。どの場所もとても受け取りが良かったです。

- ビラを見て「こんなものが出来てるんや」と言う人、ご苦労さんと受け取る人が結構あった。
- 小学生(N小)が良く受け取ってくれた。
- 米国の時代遅れの武器を買っても、相手は最新の物を持って太刀打ち出来ない(男性)
- 戦争の話やったらなんぼでもするよ。戦争は絶対にあかん！(女性)

第117回 4月5日(月) 北野白梅町周辺 7人

北風が吹く寒い日だったが、人出は多く、それなりにビラは受け取って貰えた。

- R高の生徒が良く受け取ってくれた
- 最初は(金が入って)喜んでおられたが、後は音がうるさいと言ってはるわ(地元に住む知人のことを語った女性)
- 「どうゆうことが危険なの？基地も必要では？」(男性)
- 衣笠小で先生12人分のビラを渡してきたHさんには感服！

今後の予定(時間は11:00～12:00)

第118回 4月21日(水) 堀川三条商店街

集合場所:市バス「堀川三条」バス停前

第119回 5月13日(木) 出町商店街周辺

集合場所:河原町今出川交差点の東北角

第120回 5月24日(月) 大手筋商店街

集合場所:京阪電車「伏見桃山」駅前

連絡先:090-5672-1597(白井)

近畿連絡会・総決起集会

7月18日(日)14:00～16:00 集会後デモ
部落解放センター4階 大集会室

米軍Xバンドレーダー基地撤去
基地に依存しない京丹後市を!
辺野古新基地建設阻止!

プログラム(案)

一年間の闘いの記録(映像)

基調提案 近畿連絡会代表

特別報告 永井友昭さん

(京丹後宇川の風代表 京丹後市議)

各友誼団体からの連帯挨拶

集会後部落解放センター→洛北高校前までデモ

沖縄「屈辱の日」

4.28を改めて問う!

4月28日(水)18:30～

ひとまち交流館・京都

プログラム

沖縄闘争勝利のために反安保闘争の再構築

大湾 宗則

辺野古新基地建設を阻止する行動提案

南野真左郎

万国津梁会議「提言」を糾す

増野 徹

「京都連絡会」4月例会

2021年4月22日(木)18:30～

ひとまち交流館第三会議室

話題 ミャンマー民衆の闘いが

私たちに突き付けているもの

話題提供 大湾 宗則さん

4月22日(木)に「京都連絡会」の4月例会があります。その時の演題が「ミャンマーの闘い」について大湾が報告します。

字数の関係で新聞・テレビ、スマホのニュースを前提にして「例会」当日話題にする課題をコメント風に挙げれば以下の通りです。

当日のご参加をお待ちしています。

Myanmar 民衆の闘いが 私たちに突き付けているもの

「4 月例会」骨子 大湾 宗則

2/1 早朝、クーデター発生

一瞬息を止めて静寂→ 2/1 静寂を破って医療関係者の「国軍のクーデターは許さない」呼び掛けに応じて公務員、学生、労働者のストライキと職場放棄→アウンサン・スー・チーのポスターを掲げて非武装で街頭へ。商店街閉店スト、外交官・国連代表も民衆支持の不服従運動。

国軍方針…「雑草は根絶やしにする」恐怖の刷り込み・植え付け。国軍は非武装の民衆に対して軍と警察による射殺約 600 人以上(4/12 現在)、負傷、拘束数知れず。国軍による虐殺の翌日、若き労働者学生は屈せずにもた街頭へ。

「命どう宝」と民主主義 人間の尊厳

Myanmar の人々は、クーデターに反対して民主主義体制をとり戻すため街頭に出れば軍の標的になることを覚悟して闘っている。決して「命」を粗末にしているわけではありません。

大事な「命」だからこそ、「命」が尊厳を享受する環境を次世代まで確保するために「命」を懸けて闘う、これが沖縄発祥の「命どう宝」の意味だと Myanmar の人々が突き返してきていることにあなたはどうか受け止めますか。

闘いが生み出している団結・連帯の広がり

Myanmar は人口約 5,400 万人、ビルマ人 70 %、他に 135 少数民族。(ロヒンギャは、国籍剥奪され、ミャンマーでは不法移民処遇され公的保障は皆無)。Myanmar におけるビルマ人とロヒンギャ人の関係はドイツナチとユダヤ人の関係に似ている。ビルマ民族主義によるロヒンギャへの社会・差別排外主義は 135 少数民族支配およびビルマ人の階級支配を実現してきた。

闘いの発展の中で医学生連盟のアピールが出された。その中でロヒンギャへの謝罪と彼らを含む連邦制国家が提案され、民主連盟の新憲法草案にも書き込まれている。これに対してロヒンギャから連帯のメッセージが発せられている。このことが実現すれば Myanmar の民主化は歴史的な地平を拓くことになる。こうした進展の中で国軍に攻撃された民衆を 10 を超える少数民族武装軍が保護し、民衆が進める革命に連帯表明するに至っている。国軍は焦っている。迫撃砲など大量殺傷兵器使用。国連や日本政府を動かすのは民衆の連帯した力しかない。

安保理や先進諸国の手に解決をゆだねない!

日米豪印、英国、仏、ドイツなど NATO 先進諸国は大挙して Myanmar 情勢に介入。ASEAN は「内政介入」を巡って不一致が続き統一方針無し。国連や先進諸国、ASEAN の安全保障上の共通の考えは、Myanmar 民衆闘争が他国に広がり、民主化を超えて社会主義革命に発展することを阻止したいと思っている。

日本は他国に比べて特段の協力を国軍に行っている。ODA 援助額、多国籍資本 430 社の進出では群を抜いている。Myanmar も含めた東南アジアは日本の生命線になっている。

私たちは、国連や先進諸国、とりわけ日本政府に対して Myanmar 国軍への軍事的・経済的援助を直ちに中止するよう要求すること、この点「東アジアに平和を!」掲げてきた人々の立ち上がりが遅れていることを危惧する。

闘いだけが歴史の新地平を切り開く

Myanmar は、18 世紀中ごろから英国の植民地、1942 年大日本帝国による占領。日本敗戦後再び英国の植民地。1948 年独立。1962 年～2011 年まで軍政。2008 年、防衛、治安閣僚を国軍の特権とした新憲法制定。憲法改正には議会で 2/3 以上の賛成が必要だが憲法で国軍に議会の 25 %が与えられている状態では「無理」。

2011 年民政移管…ミャンマー民衆にとって民政移管後のこの 10 年(2011～2021)、海外からの投資急増による経済成長、中間層の増加と生活・文化向上…民主主義の大切さの理解。2015 年、2020 年総選挙、民主連盟圧勝。これを受けて民主連盟は、2008 年憲法改正を模索。これが国軍による 2/1 クーデターの契機。

1962～2011 年までの 50 年間、国軍独裁による軍事支配は、国軍による経済支配、とりわけ産業及び官庁などの公共団体人事を独占、海外との合弁など権益独占。この利益を基に国軍を養い、産業を管理し、民衆を搾取し、国家を運営し支配してきた。この権益防衛が国軍の目的。

ミャンマー民衆の闘いに連帯し、アジア民衆の国際連帯闘争の高揚で国軍を分裂させ、味方につけない限りこの闘いは勝てない。

現在 Myanmar で進行中の事態は、これまで日本「左翼」の「リベラリズム」で連帯し受け止めることは可能でしょうか? 無理でしょう。

「古い革袋」、「既成概念(ドグマ)」は桎梏になっていることに気づくこと、「新しい革袋」を準備することが今回の「例会」の目的です。